

白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザルの選定結果について（報告）

1 選定審査委員会の概要

(1) 開催日時

平成29年11月15日（水）午後3時～4時30分

(2) 選定審査委員

選出母体又は役職	氏名	委員区分	備考
白岡市副市長	秋葉 清一郎	市長が指名する市職員	会長
白岡市行政区長会	佐々木 操	市民又は利用者の代表	副会長
白岡市社会福祉協議会	浅野 悦子	市民又は利用者の代表	監事
埼玉県企画財政部 交通政策課	畦地 英樹	埼玉県企画財政部交通政策課長又はその指名する者	監事
東洋大学 総合情報学部教授	尾崎 晴男	地域公共交通について優れた識見を有する者	
白岡市市民生活部長	高澤 利光		事務局

(3) 応募事業者・・・1社

埼玉県白岡市小久喜552-9

昭和タクシー有限会社 代表取締役 明野真久

(4) 審査の結果

昭和タクシー有限会社の企画提案を可（採用）とし、委託候補者として選定した。

(5) 審査の概要

昭和タクシー有限会社 代表取締役 明野真久氏から企画提案書の内容について説明があり、質疑応答後に選定審査を行った。

選定審査は、実施体制、運行業務、安全管理、見積金額、利用促進・サービス向上に資する創意工夫等について評価し、総合的に運行事業者として適しているか審査した。

ア 質疑応答の要旨

1)問 車両は2台、予備1台とのことだが、普段の使い方は。

答 予備の車両は、通常はタクシー車両として運行している。また、全部が稼働している訳ではないので、稼働していないときは、事務所の車庫にある。

2)問 オペレーターの社員教育について、苦情は共有化しているのか。

答 基本的には、月1回の研修会にて、オープン化している。また、

管理者において集約して文書化している。苦情を活用していくことが、苦情を抑える（なくす）ことにつながる。ペーパーで一元化してオープン化していくことが大切である。

3) 問 事故は3年で1件とのことだが、行政処分はあるのか。

答 ない。

4) 問 利用者を増加させる策は。

答 昼休みをなくすということと、白岡市の場合は、市の東部と西部で利用の差が大きい。利用の少ない西部エリアの大山地区で、のりあい交通を認知してもらうことが重要である。

5) 問 ドライバーの確保策は。

答 確保は難しい。デマンド型の運転手は、当社の顔であるので、売上を保証するなど、配慮して、社内でドライバーを巡る環境が好転するようにしている

イ 選定審査委員の意見の要旨

- 1) 3年間の実績があつて、事故も1件である。
- 2) 各審査委員の採点結果を見ると、大きな乖離がなく、80ポイント以上である。
- 3) デマンド型交通の3年半の実績がある。

2 スケジュールの概要

項目	日程
実施要領・仕様書の配布	平成29年10月27日（金）午前9時から
説明	平成29年10月27日（金）午前9時から随時 白岡市役所庁舎 3階 市民生活部 地域振興課
質問の受付期間	平成29年10月27日（金）午後1時から11月2日（木）午後5時まで
書類の提出期限	平成29年11月13日（月）午後5時まで
審査（プレゼンテーション・質疑応答）	平成29年11月15日（水）午後3時 白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
運行事業者決定通知等の発送	平成29年12月20日（水）予定